

# 星座をさがそう

## 12月、1月のほしぞら

2022年12月1日  
三重県立みえこどもの城 ドームシアター

	月のはじめ頃	月のおわり頃
12月	夜 12:00 頃	夜 11:00 頃
1月	夜 10:00 頃	夜 9:00 頃

◆このほしぞらと同じように見えるのは、右の表の時間だよ。



### ★さがしてみよう(冬のダイヤモンド)

空気が澄む冬は、一年の中でいちばん星空がきれいに見える季節です。そんな冬の夜空には、さまざまな色の1等星が7つも輝いていて、その様子はまるでイルミネーションのよう。その7つの1等星というのが、オリオン座の「ベテルギウス(オレンジ色)」と「リゲル(白色)」、おおいぬ座の「シリウス(青白色)」、こいぬ座の「プロキオン(黄色)」、ふたご座の「ポルクス(オレンジ色)」、ぎょしゃ座の「カペラ(黄色)」、おうし座の「アルデバラン(赤色)」です。その内、オリオン座のベテルギウスを除いた6つの星を結ぶと大きな六角形ができあがります。この六角形は「冬のダイヤモンド」と呼ばれています。まるで冬の星座たちからの贈り物のようですね。

### ★「昔」の輝きを見ている私たち

一見すると、星座を形づくる星々はドーム型の天井に張り付いているように見えますが、実際は地球からバラバラな距離にあります。例えば、「冬のダイヤモンド」を形づくるオリオン座の「ベテルギウス」はおよそ500光年、おおいぬ座の「シリウス」は8.6光年、こいぬ座の「プロキオン」は11.5光年、地球から離れています。「1光年」というのは光が1年かけて進む距離のこと。つまり、ベテルギウスの発した光が地球に届くまで500年もかかるということになるのです。また、ベテルギウスはもうすぐ寿命が尽きて爆発すると言われています。今私たちが見ているベテルギウスの光はおよそ500年前に発せられたものなので、もしかするとベテルギウスはすでに爆発しているかもしれません…。



2023年1月21日(土) 15:15~16:15

天文イベント「なにコレ!?プラネタリウム ~ベテルギウス大爆発ってホント?~」を開催!

天文研究家の浅田英夫さんが宇宙や星のことについて楽しく解説してくれるよ!

※申込みはみえこどもの城 HP から (申込開始: 12月20日(火)10:00~)

もっと詳しく  
知りたい人は!